

惜別

元財務相

しおかわ まさじゅうろう
塩川 正十郎さん

「そんなの何も変わらんわい。アホなこと聞くな!」。初対面いきなり怒鳴られた。

政治記者駆け出しのころ、当時の小泉純一郎首相が掲げた国債発行額を年間30兆円に抑える公約が怪しくなっていた。そこで真相を聞こうと、財務相だった塩川氏を議員宿舎で夜回り取材した時のことだ。たおやかな関西弁の印象が強かったので、以来、「怖いじゃない」の印象しかない。

実際、豪気の人だった。田中角栄氏と福田赳夫氏が総裁の座を激しく争った「角福戦争」。福田派だった塩川氏はテレビ番組で「角



衆院予算委員会の開会前、小泉純一郎首相（当時）と話す財務相時代の塩川正十郎氏＝2003年2月

「豪気」と「情」のじいちゃん

さんが当選したら、日本は土建国家になっちゃうぞ」。これを聞いた田中氏が激怒し、田中首相のもとではばらく役職が回ってこなかったが、「本当のことを言ったままで」と気にしなかった。「非主流派」になるまいと、総裁選さえ避けようとする今の自民党議員を塩川氏はどう見ているだろうか。

2005年、地元・大阪府東大阪市の府立高校歌を作詞した。その一節が「思いやる心 優しさが綱也」。実は情の人でもあったと後でわかった。

1991年、知人の息子が酒を一気飲みさせられ亡くなると、朝日新聞の「声」欄に投稿。「強制されて苦しんで飲む酒は、『殺人剤』にもなる」と切々と訴えた。

同じ派閥の小泉氏が負け覚悟で総裁選に出続けても「推薦人が足りなければ、いつでもなる」と励ました。小泉氏は9月24日の塩川氏の葬儀で「私の政治活動の大きな励みだった」と語り、涙した。

03年、81歳で衆院議員を引退した際、こう語っていた。「燃え尽きるまでやる。志がある限り、骨になるまでやるべきだよ」

(西山公隆)

9月19日死去（肺炎）93歳